



校訓 よく学び よく遊べ

学校教育目標「ふるさとを愛し、社会に役立つ人間」

令和6年2月1日
五島市立嵯峨島小中学校
校長 NO,21

避難訓練

今年度3回目となる避難訓練を実施しました。命を守ることについては、年初から能登地方で大規模な災害が発生し、多くの命が奪われたことから実践力につながる訓練を重ねることが重要であると考えます。

今回は、訓練のねらいを以下のように設定しました。

- ・避難経路を把握し、教師の指示のもと出火場所に応じた避難ができるようにする。
- ・非常時における基本的な避難行動について理解する。
- ・集団行動の中で、沈着・冷静・迅速に対処する能力を養う。

火元を給食室と設定し、両担任が児童生徒をはさんでの避難。その後、避難に関する動画を視聴し、知識を習得できるようにしました。最後は、給食室前の防火扉を実際に閉じ、煙を遮断できることを確認。

今後も一人一人の意識が高まるよう繰り返しの指導に努めます。

児童の感想

○ 放送がなったときに静かに聞けたし、あわてずに避難することができたのでよかったです。



真剣に避難し、早歩きで移動することができたのもよかったです。もし、生活の中で火事が起きたら、訓練で学んだ煙を吸わないためにしゃがんで移動するということを忘れずに生活していきます。

○ 放送をしっかり聞くことができたのでよかったです。火事で一番多い死因が、煙を吸うことだということを知っておどろきました。火事の時には、下の方に新せんな空気がたまるということも知れたのでよかったです。火事が起こったときには、今日教えてもらったことを頭に入れて、あわてずに避難をしていきたいと思います。

青少年健全育成意見発表会

市内11校の代表者が、ふるさと五島での自然体験や地域住民との交流体験などを通して得たこと等を発表する大会が行われ、〇〇さんが出場。堂々と発表する態度は、圧巻。以下に一部を抜粋して紹介します。

僕は嵯峨島が大好きです。そこで、今日は、僕の大好きな嵯峨島のよいところを二つ紹介します。

一つ目は、人があたたかいということです。嵯峨島の方のあたたかさが分かるエピソードを三つ紹介します。嵯峨島では、毎年お盆の8月14日にオーモンデーをします。オーモンデーは国選択無形民族文化財に登録されていて、島のみんなが誇りをもって大事にしている念仏踊りです。地域の方と一緒につくる小中学校の運動会でも、毎年、男子児童生徒や男性の先生方が披露しています。地域の方も、地域の大切な文化であるオーモンデーを私たちの世代に引き継ぐため、熱心に指導してください。残念なことに、今年度の8月14日は人があつまらず、地域の方によるオーモンデーは行われませんでした。8月14日のオーモンデーが行われなかったこともあり、運動会のオーモンデーは、地域の方に見てもらいたいという気持ちで頑張りました。当日は、たくさんの地域の方が見に来られていたので、とても緊張しました。踊り終わったあと、これまでで初めて、アンコールを受けました。地域の方が喜んでくれていることがわかり、とても嬉しかったです。これからも、オーモンデーがなくならないように伝えていきたいです。(略)11月11日には、島の多くの方が関わって盛り上げる3年に一度の八幡神社例大祭が行われました。重い神輿を大人たちが担いで街中を歩き、各家庭の玄関先で担ぎ上げます。僕たち子供も、旗を持ち地域の方と一緒に街中を歩きました。みんなで協力して、それぞれの安全や健康などを願う、とてもあたたかい祭なので、僕は大好きです。しかし、最近人が少なく、神輿の担ぎ手には、学校の先生方が協力してくれています。僕たちが中学校を卒業するとき、このままだと学校は休校になり、先生たちもいなくなるので、今のやり方ではできなくなってしまいます。そうになってしまうと悲しいです。祭りをを行う方々の思いを受け継ぐためにも、今のやり方を続けていける方法はないか、僕も考えたいと思います。また、僕も大人になったら神輿を担ぎたいなと思っています。(略)